

2. 運転再開へ向けて

被災から約3週間で御影 - 王子公園間が暫定復旧。それに際して王子公園駅付近で車両の搬入が行われました。



上2枚：王子公園駅北側にずらりと運ばれてきた8000系。

梅田寄り先頭車から順番に運ばれてきた。梅田寄り先頭車が神戸向きに止まっているには理由がありました。

左下：台車も1両分がトレーラーに載せられて運ばれてきた。





車両は王子公園駅東側の保線車両用の側線に1両ずつ搬入された。

左上：まず先に台車をクレーンで吊り上げて線路上に置く。

下2枚：次に車両を載せたトレーラーが交差点を左折し、バックで車両を押し込む。ここで車両が正規の方向を向くことになる。

道路上に置かれた四角い黒い板は、クレーンのための作業用台座。

この作業をするために、神戸よりのクレーンがわざわざのかわなくてはならない、手間の掛かる作業でした。



吊り上げの準備



左上：一旦車両を吊り上げ、運搬用の車輪を抜き取ります。

右上：次に作業脚（緑色の三角形のもの）を置き、そこへ車両を下ろします。

左下：空気ばねの取り付け座を据え付けたり、床下機器の点検・調整を行います。

いよいよ車体の吊り上げ



左上：いよいよ搬入吊り上げの開始。圧巻の風景です。

右上：微妙な位置調整をしながら、慎重に車両を線路上に下ろしていきます。

左下：線路上上の台車に無事下ろされた車両は、保線車両によって1両1両ゆっくりと運ばれていきました。

この保線車両が帰ってきてから、再び線路に台車を置かなければならないため、大変時間が掛かりました。

